

重要文化財（建造物）

旧松浦家住宅

- 1 指 定 旧松浦家住宅 3棟（主屋、座敷蔵、米蔵）
- 2 所 在 地 秋田県横手市増田町
- 3 所 有 者 株式会社あきた食彩プロデュース
- 4 指定基準 「（三）歴史的価値の高いもの」および
「（五）流派的又は地方的特色において顕著なもの」による
- 5 説 明

旧松浦家住宅は、横手市増田伝統的建造物群保存地区（伝建地区）のほぼ中心部に位置する。主屋は明治22年、後方の座敷蔵は明治36年の建築で、主屋から後方にのぼすサヤと呼ばれる覆屋で座敷蔵を覆い、主屋と一体的な構成とする。

主屋のほか、座敷蔵、米蔵ともに建築年代が明らかであり、伝建地区内で明治期に遡るこれら3棟が完存する唯一の遺例として貴重である。

【 主 屋 】

建築年代：明治22年

構造形式：木造二階建，切妻造，妻入，鉄板葺，桁行22.6m，梁間9.6m

西端の玄関から主屋南側に石敷きの通り土間が蔵前に続く。一階は、土間に面して正面からキャクマとヒカエノマ，ブツマとナンド，ザシキとイタノマ，ダイドコロとイマが並ぶ地区の典型である4列の構成をなし，ダイドコロは座敷蔵の蔵前と一体となって大空間を形成している。二階は、和室・洋室など6部屋を設ける。

【 座敷蔵 】

建築年代：明治36年

構造形式：土蔵造二階建，切妻造，妻入，鉄板葺，桁行11.8m，梁間6.4m

一階の西がイタノマ，東側に十七畳半のザシキとなっており，イタノマ北側の階段が二階へと続く。ザシキの東端に床の間を設け，ザシキとイタノマの境に差物を渡して市松模様となる障子襖をたて，組子欄間を飾る豪華な造りである。

【 米 蔵 】

建築年代：明治23年

構造形式：土蔵造二階建，切妻造，妻入，鉄板葺（置屋根式），桁行14.6m，梁間6.8m

一階は土間の一室で，二階は後に設けられた間仕切りにより東西に仕切られる。院内石を二段積んだ基礎の上に土台を伏せる。外壁は漆喰で，東面の扉上に「波に兎」の鰻絵を飾る。

※旧松浦家住宅の主屋，座敷蔵，米蔵は平成21年5月25日付けで横手市指定文化財に指定されているが，横手市文化財保護条例第5条第3項の規定により指定は解除される。



旧松浦家住宅（外観正面）



旧松浦家住宅（主屋通り土間）



旧松浦家住宅（座敷蔵外観）



旧松浦家住宅（米蔵外観）